

探究学習について探究する

～一般財団法人 日本私学教育研究所 初任者研修 全国研修会のお知らせ～



新学習指導要領では新しく理数科という教科で「**理数探究**」の科目が新設されるし、「**総合的な探究の時間**」「**古典探究**」「**地理探究**」「**日本史探究**」「**世界史探究**」と、「**探究**」という言葉が目立つけど、一体どういう授業をすれば良いのかな。「**自ら課題を発見する**」「**問いを立てる**」ということを生徒に指導できるだろうか…。

生徒に探究学習をさせる際のヒントが欲しい！

探究学習を行う際の学校図書館の有効な活用方法について知りたい。

生徒に指導する前に、そもそも自分自身が「探究」活動ができるのか不安だ…。

他校ではどのような取り組みをしているのかを知りたい！

今年度の初任者研修全国研修会では、探究学習についての講義とワークショップを通じて、探究学習の理論と実践の両方を学んでいきます！講師は図書館情報学（学校図書館）を専門とし、高等学校での勤務経験もある**庭井史絵先生（青山学院大学教育人間科学部 准教授）**です！

—2019（令和元）年度 初任者研修全国研修会の主な内容—

①私立学校の教員（「私学人」）としての資質を高める

先生方が勤める私立学校や教育界の動向について学び、「私学の自主性」を踏まえた授業づくりの出発点を探ります。

②探究学習について学ぶ

探究学習を行う際に必要なスキルの指導と授業づくり、生徒の探究学習へのサポート方法、学校図書館の利用を体験的に学びます。

③PBLについて学ぶ

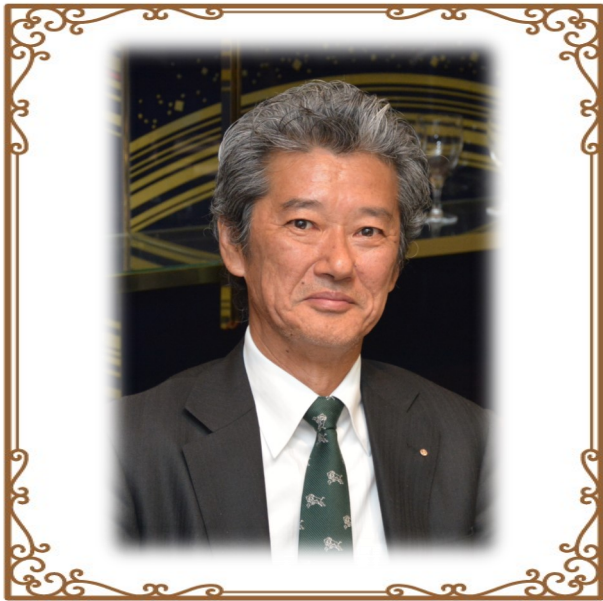
講義とワークショップを通じて、PBL（*Project-Based Learning*）について学びます。



※写真は昨年度の研修会のものです

研修会のその他の講師情報は裏面にあります

初任者研修 講師からのメッセージ



菅沼 宏比古 先生
学校法人 西海学園 理事長

先生方は「私学人」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。私立学校に勤める皆さんには自校の「建学の精神」に関する理解はもちろんのこと、この言葉も必ず知っておいてほしいと思います。

私立学校に勤めるという決意と覚悟、公立学校に勤める先生とは異なるというプライドなど、様々な想いが詰まっているのがこの「私学人」という言葉です。

今回の私立学校初任者研修全国研修会では、私自身の民間企業での勤務経験も踏まえて、「私学人」として初任者である皆さんに大切にしてほしい事柄を伝えつつ、未来を見据えた学びやいつの時代も変わらない教育の本質について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

※西日本会場担当

※東日本会場は森涼先生
(学校法人石川高等学校・
石川義塾中学校 理事長・
校長)が担当します。



今回の「講義とワークショップ 主体的・対話的で深い学びからPBLへ」では、アクティブラーニングが目指している生徒の「能動的学習」の中身のお話をします。また、その上で、全ての教科で導入可能なアクティブラーニングの具体的手法である（教科の授業の中で課題解決型学習を実現できる）パフォーマンス課題のコツを、ワークショップで経験的に学んでいただきます。

もう少し具体的に説明しますと、アクティブラーニングは、生徒の外形的な活動を目標とした学習ではなく、習得した知識（事実的知識、概念的知識）や技能（個別スキル、見方・考え方）を活用して「思考・判断・表現」する「深い学び」を目標とした学習形態です。この講義とワークでは、その「深い学び」の意味の説明、「深い学び」を生徒にもたらしするための具体的手順や注意点を説明いたします。是非、日々の授業の中に取り入れていただければと思います。



広石 英記 先生
東京電機大学 教授・日本PBL研究所 理事

一般財団法人 日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683 日本私学教育研究所HP <http://www.shigaku.or.jp/>